児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2018 年 12 月 20 日　　事業所名:えびす

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・夙川については、スペースの利用環境の整備が必要。本山は、もう少し広いスペースが必要とも考えられる。 ・利用人数が定員いっぱいの時などは、狭く感じる。	はい:48% どちらともいえない:38% わからない:14%	
	2	職員の適切な配置	・法定では適正であり、非常勤職員など含むとほぼ1対1もしくは2対1で付けるようにしている。	はい:86% どちらともいえない:5% わからない:9%	
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・夙川、本山とも、段差があり、あらゆる状態の方が利用しやすい環境とは言い難い。改修は現実的でないとしても、補助的な道具の活用で、できるだけバリアを解消していきたい。 ・施設内・施設玄関前に階段あり。	はい:86% どちらともいえない:9% わからない:5%	
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保		はい:100%	
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・常勤職員については十分できており、できるだけ非常勤職員の意見を取り入れるようにも努めている。		
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・西児連の相互評価に取り組んでいるが、他にも第3者による評価は必要だと考えている。		
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・施設内にて職員研修を月1回実施。また、外部の研修にも参加。		

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・計画の内容をより具体的にし、短期間で見直しの仕組みを考えていきたい。	【ご意見】 ・毎回利用後に様子をしっかり伝えてくださり、そこから今後の課題などの提示もあり次につながる支援もしてくださっていると思います。外出プログラムも増え、活動の幅も広がり、今後につながっていると思うのでとても満足しています。 ・支援計画書を拝見していない。	・支援計画をお渡しできていなかった方1名に対し、説明の上お渡しした。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・現在の利用者それぞれの目標に合わせて参加の有無の声かけを検討し実施している。		
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載			・支援計画をお渡しできていなかった方1名に対し、説明の上お渡しした。
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施		はい：81% どちらともいえない：14% わからない：5% 【ご意見】 ・支援計画書を拝見していない。	・支援計画をお渡しできていなかった方1名に対し、説明の上お渡しした。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・企画者がチームのメンバーに意見を受けながら、立案している。	はい：90% どちらともいえない：5% わからない：5% 【ご意見】 ・イベント内容も様々に工夫されており、子どもも楽しめている。	
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・個別に課題を設定し、それらを取り入れているが、より改善の余地はある。 ・開所時間に応じてメリハリのある時間が過ごせるように考えている。 ・施設独自の長期休暇・祝日プログラムを企画し実施している。		
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・常に新しいものを取り入れながら、定評のあるものは繰り返し採用している。		
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・毎回事前にミーティングを行い、利用者情報、支援のポイント、役割分担を行っているが、途中開始の職員のフォローが不足することもある。		

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・閉所後に振り返りを実施。当日利用者の気になる言動や対応について共有し改善が必要な場合は新たな方法を検討している。		
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・様式に沿って、正しく記録をとっている。後日記録を振り返る際に必要な情報が分かりやすく記載できるようにフォーマットを設定し記入。よりよく活用していけるような様式に今後も改良を加えていきたい。		
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・基本的に定期での見直しのみとし、不定期で必要に応じての変更は必ずしも実施できていない。		
関係機関との連	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	・基本的に児童発達支援管理責任者が出席とし、必要に応じて、担当指導員も出席できる環境をつくっている。		
	2	**（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）** 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在対象の利用者がいない。		
	3	**（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）** 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在対象の利用者がいない。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	・保護者からの情報は見学時等に聞き取りができているが、施設間でのやりとりは行われていない。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・要望に応じて対応している。		

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
連携	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・連絡会を通して、研修に参加したり、助言を適宜受けられる環境づくりに努めている。		
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・日常的に企画はできていない。外出イベント等で自然な関わりはある。	はい：10% どちらともいえない：14% いいえ：38% わからない：43% ※「どちらともいえない」「わからない」両方に〇の方あり 【ご意見】 ・利用時は支援者とのかかわりが大切と考えているので今のところはなくてもよいと思っています。	・支援者とのかかわりを第1に考えるが、今後も外出イベント等を通じて地域や様々な人と自然な関わりを持てる機会を作っていく。 ・地域資源を把握しておき、必要あれば利用者に紹介したり、こちらの事業所情報を相手に知ってもらうなどして連携していきたい。 ・地域の学童と併用している利用者について、学童での様子を聞いて支援に活かせるようにする。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・学生ボランティアを積極的に受け入れるなど、できるだけ開かれた運営に努めている。 ・地域の方への開放は行っていないが、求められれば応じている。		
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・契約前に十分に時間を確保し、対面で説明している。また変更点についても随時会報等で周知している ・契約時に利用者負担等については説明済。その他質問等ある場合その都度説明を実施。	はい：100%	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・基本的に契約時に説明。その他質問等ある場合その都度説明を実施。	はい：90% わからない：10%	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント･トレーニング等の支援の実施	・企画としては実施できていないが、日常のやりとりのなかで、対応力向上のため、支援の汎化に努めている。	はい：33% どちらともいえない：19% いいえ：24% わからない：24%	・親子イベントや研修会など、年間計画として周知できるようにする。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・主に、送迎時や連絡調整時に、事務連絡のみでなく様子を丁寧に聞き取っている ・来所時に前回利用時からの家庭や学校での様子を聞くとともに、帰宅時には当日の本人の様子を保護者へ伝えている。	はい：95% いいえ：5%	

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・主に、送迎時や連絡調整時に、事務連絡のみでなく様子を丁寧に聞き取っている。	はい：71% どちらともいえない：19% いいえ：9% 【ご意見】 ・定期的ではなく保護者からお話したい旨伝えると時間をとって相談していただけています。	・支援計画のモニタリングに合わせて定期的に面談の機会を設定する。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・保護者会は開催していない。	どちらともいえない：19% いいえ：57% わからない：19% 無回答：5% 【ご意見】 ・先輩を育てていらっしゃる保護者の方に学校卒業後の進路の事など教えていただける集まりがあってもいいなぁと思います。 ・自力で通うお子さんも多く、保護者と会う回数が少ない。 ・父母の会をしてもらいたい。	・高校進学、卒業を経験した利用者がまだ少ないため、スタッフを通じて進路の質問や悩みを解消できるようにしたい。 ・親子イベントや研修会など、保護者同士が顔を合わせる機会を作り、年間計画として周知できるようにする。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・苦情解決の責任者が責任を持ち、速やかに対応するように努めている。またその結果として対応方法の変更については、会報等で周知している。	はい：38% どちらともいえない：14% わからない：48% 無回答：5% ※「どちらともいえない」「わからない」両方に〇の方あり 【ご意見】 ・苦情がありません。 ・特に苦情となるような出来事は今のところありません。	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・状況を常に把握し、個別対応している。	はい：90% どちらともいえない：5% 無回答：5% ・主にメールで細かく教えていただいています。	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・会報等は作成しているが、今後はWEBでの周知も進める。	はい：85% どちらともいえない：5% わからない：5% 無回答：5%	

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	・十分注意しているが、改善の余地はある。	はい：80% どちらともいえない：5% わからない：10% 無回答：5%	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・保護者には周知しきれていないことと、マニュアルはまだ改善の余地はある。	はい：57% どちらともいえない：19% いいえ：14% わからない：10% 無回答：5% ※「どちらともいえない」「わからない」両方に〇の方あり 【ご意見】 ・説明されたと思うが親が忘れているのでもう1度チェックしたい。	・保護者向けの各種マニュアルを整備し、再度お渡しできるようにする。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・計画的にできていない。	はい：38% どちらともいえない：24% いいえ：5% わからない：33% 無回答：5% ※「どちらともいえない」「わからない」両方に〇の方あり	・2か月に1度くらいの頻度で年間計画を立てて実施する。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	・研修は実施しているが、十分とは言い切れないので、今後も充実させていく。		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・実際に拘束が必要な場面(本人または他児がけがの恐れがある場合)に動き制止した場合保護者に直接説明はしているがサービス計画に記載されていない。		・「やむを得ず身体拘束を行う場合」の状況を再度職員間で共有する。 ・支援計画に明記し、やむを得ず身体拘束をおこなった場合、子どもや保護者への説明と日報にその状況を記録することを再度徹底していく。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・医師の指示書ではないが、保護者からの聞き取りにより対応している。		
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハットの集約はしているが、事例集として活用しきれているわけではない。		・個人記録の中に記録する場所があるため、そこに対応策を赤字で記録していく。 ・ふりかえりの際に検討したヒヤリハットを集約し、事例集として活用する。